

あの日から1745日
…そして明日へ

参加費
無料

ふくしまの今を語ろう

学校法人立命館と福島県は、2013年12月に復興に向けた連携・協力のため、協定を締結いたしました。

協定締結3年目を迎える12月20日、地域・社会に開かれたキャンパスとして2015年度のグッドデザイン賞も受賞した大阪いばらきキャンパスを会場に、風評と風化、二つの風に向き合う現地の今を知り、感じ、考える1日になることを願って「ふくしまの今を語ろう」を開催いたします。

映画「物置のピアノ」鑑賞や復興支援活動を通して見えた「ふくしまの今」を専門家、学生、留学生たちの報告やパネル展示、体験型の企画、そして本と語りを通してお伝えします。

2015年 **12月20日** 日

10:00~16:30

立命館大学大阪いばらきキャンパス
B棟 立命館いばらきフューチャープラザ

ステージ企画

10:00~16:15 / カンファレンスホール (受付 9:30~)

- 10:00~10:10 **主催者あいさつ**
- 10:10~12:50 **映画上映「物置のピアノ」**
橋内裕人プロデューサーの映画トーク
- 13:30~16:00 **みんなで語ろう**
安齋 育郎 (立命館大学名誉教授/安齋科学・平和事務所所長)
野地 誠 (福島県 風評・風化対策監)
西崎 芽衣 (一般社団法人ならはみらい職員)
橋内 裕人 (映画プロデューサー)
学生たちの報告、参加者とのディスカッション
コーディネーター: 山口 洋典 (立命館災害復興支援室副室長)
- 16:00~16:15 **福島県産品が当たる抽選会**



立命館大学名誉教授/安齋科学・平和事務所所長

安齋 育郎

東京大学工学部原子力工学科卒業、工学博。東京大学助手、東京医科大学客員助教授を経て、1986年立命館大学経済学部教授、88年国際関係学部教授、95年より国際平和ミュージアム館長、現在名誉館長。2011年、安齋科学・平和事務所 (ASAP) 開設。著書に「原発事故の理科・社会」(新日本出版社)、「Scientific and Social Aspects of Fukushima Nuclear Disaster」(ASAP) など多数。核・原発問題でテレビや新聞に登場。毎月の「福島プロジェクト調査」で、福島市・伊達市・郡山市・南相馬市・本宮市・須賀川市・いわき市・浪江町・川俣町・飯館村などを訪問。



福島県 風評・風化対策監

野地 誠

福島大学経済学部卒業。2012年4月福島県避難者支援課長、2015年4月から現職。



一般社団法人ならはみらい職員

西崎 芽衣

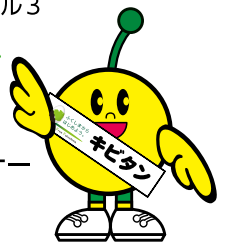
立命館大学産業社会学部 (体学中)、一般社団法人ならはみらい東京2020エンブレム選考委員。在学中に学生団体「福島ボランティア便 そよ風届け隊」を設立し、福島県楡葉町の仮設住宅にて活動。2015年4月から1年間、一般社団法人ならはみらいに嘱託職員として勤務。

ホール企画

11:00~16:30 / イベントホール3

- **キビタンと遊ぼう**
クイズと体操
- **起き上がり小法師絵付け体験**
- **福島県産食材を使用した試食・試飲コーナー**
- **福島県の復興のあゆみなどのパネル展示**
- **福島県観光紹介**
- **復興支援活動をした学生のブース展示、マミーすいとんの振る舞い**
- **災害復興支援室紹介**

一緒にクイズや体操をしよう!



起き上がり小法師



マミーすいとん
元サッカー日本代表監督の
フィリップ・トルシエ氏が
命名した楡葉町の料理



キビタンと
こどもたち

来場者へ「天のつぶ」(福島県オリジナル米)をプレゼント
数に限りがございますので無くなり次第終了となります。

ライブラリー企画

13:00~16:00 / まちライブラリー@OIC

- **植本セラモニー**
- **福島の語り部さんによる紙芝居**
震災の時のお話し、福島の様子を語っていただけます。

震災で傷ついたふるさとの心を 「映画」で支えることは出来ないだろうか？

「物置のピアノ」から、
震災後の現状を知ること、
復興のために
「自分に何ができるのか」を
と一緒に考えるきっかけにして
いただきたいと思います。

映画プロデューサー橋内裕人さんをお迎えし、映画製作にまつわるさまざまなお話を聞かせていただきます。

**先着
120名**
10:10~12:50
カンファレンスホール
※申込不要
当日9:30より受付



物置のピアノ

福島県の中通りにある桑折（こおり）町にある桃農家を営む小さな家族の物語です。

2012年7月。あの震災から一年後の夏
高校3年生の宮本春香（17）が奏でるピアノは薄暗い物置から夏草の薫りの中に溶け込んでゆく—
ある日、東京の大学に通う姉・秋葉（20）が突然帰ってくる。

優秀で何でも器用にこなす人気者の秋葉といつも比べられてきた、不器用で臆病な春香。
そんな春香にとってピアノを弾いている時が唯一の心安らぐ時間であり、物置は世界の中心だった。

●企画・製作：武重邦夫 ●監督：似内千晶 ●原作：原みさほ
●プロデューサー：佐々木裕二／橋内裕人

<http://www.cinemanest.com/monookinopiano/>

ステージ企画

16:00頃～
福島県産品が
当たる
抽選会

— 映画上映／映画トーク —

カンファレンスホールでは、震災前から制作され震災後に完成された映画「物置のピアノ」を特別上映します。
福島の名産である桃の農家を舞台に、家族のつながりの大切さに気づいていく姉妹の成長が描かれた作品です。映画『物置のピアノ』のプロデューサーの橋内裕人さんのトークをお送りいたします。

— トークセッション —

映画のあとは立命館と福島とのあいだで結ばれてきた縁を紐解くトークセッションです。放射線防護学という観点から、「福島の保育園児に安心な散歩道を」とこどもの心身の発達を支援してきた安斎育郎先生、避難者支援の現場から福島県が置かれた風評と風化の政策の推進の立場を務める野地誠さん、そして大学1回生の冬に仲間たちと始めた福島県での活動を縁に2015年度の1年間は休学し檜葉町で支援に取り組んでいる西崎芽衣さん、加えて、プロデューサーの橋内裕人さんにもご参加いただけます。

ホール企画

「ふくしまの今」を伝えようと、福島県と立命館のそれぞれがパネル展示を行うほか、福島県産食材を使用した試食・試飲など、幅広い企画で皆さんをお迎えます。会津地方に古くから伝わる縁起物「起き上がり小法師」の絵付け、福島県のシンボルキャラクター「キビタン」と一緒に体操、クイズなど、体験型の企画も多数。皆さんの参加をお待ちしています！



ライブラリー企画

市民や学生、教職員など世代を超えて、地域の方々と共に学びの場を育てる「まちライブラリー@OIC」を舞台に、福島を語り継ぎ、語り合う場を設けます。福島県の語り部さんによる紙芝居で震災当時のお話し、福島の様子を伝えていただきます。また今回の催しを記念して、福島に関する本を「植樹」ならぬ「植本」するセレモニーも実施します。本と語りを通じて交流を深めてください！

《お問い合わせ先》

立命館災害復興支援室 TEL.075-813-8282
E-mail: 311fukko@st.ritsumeiji.ac.jp
12月20日の連絡先: 080-1412-9489

福島県総務部広報課 TEL.024-521-7124

お願い

- ・会場には駐車場がありません。公共交通機関でお越しください。
- ・キャンパス内は全面禁煙です。キャンパス及び近隣の喫煙はご遠慮ください。
- ・都合により内容など変更になることがあります。
- ・詳細は当日会場で配布するチラシをご覧ください。
- ・主催者が広報などの目的で会場内の写真撮影をすることがあります。

《会場》

立命館大学 大阪いばらきキャンパス
B棟 立命館いばらきフューチャープラザ
〒567-8570 大阪府茨木市岩倉町2-150

電車でお越しの場合

- JR茨木駅から徒歩約5分
- 阪急南茨木駅・大阪モノレール南茨木駅から徒歩約10分
- 阪急茨木市駅から徒歩約20分
- 大阪モノレール宇野辺駅から徒歩約7分

バスでお越しの場合

- 阪急茨木市駅から約7分 ● 枚方市駅北口から約45分

